

# 番傘川柳本社

## 5月投句句会

締め切り……令和5年4月10日  
 参加者……104名  
 投句整理……中岡千代美  
 名簿作成……中岡千代美  
 清記……柴田 桂子

### 宿題 帰る 桑原すゞ代 選

止まり木で明日を充電して帰る 弘津 明子  
 たくさんタダイマ聞いた日もあった 田中きみ子  
 四季咲きの花が待ってる着地点 正司 珠梨  
 ふる里はやはり最高Uターン 池田 武彦  
 オフクロとオレに変わっている帰省 竹明なおみ  
 傘寿でも帰りたくなる母の胸 近藤 クニ  
 錦など飾れないけど帰ります 浜野みさえ  
 千鳥足家には確と辿り着く 田中 勝子  
 後悔が行ったり来たり帰り道 井本 健治  
 渡り鳥迷わず帰れウクライナ 村上 哲子  
 晩節へ片道切符握りしめ 佐藤 后子  
 ふる里で先祖に詫げる慕じまい 藤田 勘芳  
 玄関の灯りが見えてホッとする 楠山東石子  
 バイバイにいつも大泣きしてくれる 柴田 園江

帰りたいふる里はいまダムの底 大岩 郁夫  
 働いて帰るわが家の灯が温い 武藤 伶子  
 帰るのはやめます側に居たいから 蔵田 康子  
 子が帰る土産一つも持たないで 香川 保子  
 夕焼けに背中押される帰り道 西谷 公造  
 来て嬉し帰って安堵孫三日 岡部 則正  
 ホームインこれぞ歓喜のお帰りだ 広瀬弥生子  
 ふるさとにいつでも帰る場所がある 住田 照水  
 今帰るコール確かめ火を入れる 桑野まりこ  
 帰るまで忘れていたよ誕生日 角野たかし  
 新入りのホームシックが乗っている 西陣 五朗  
 一人息子が女になって帰省する 北山 恵一  
 酔っ払い帰宅本能持つ不思議 村田 賢爾  
 無残にも瓦礫と化している祖国 毛利 元子  
 今はもう母が待つでもない帰郷 青嶋由紀美  
 止まり木でクールダウンをして帰る 能田 文夫

帰る家あるから今日も旅に出る 羽生 悦郎  
 運のない日と諦めて帰途につく 村田 繁一  
 父喜寿の今がその時Uターン 中村八十八  
 も少し頑張るきつとまた会えるから 米田 恵子  
 精一杯楽しみ神の手に帰る 黒田るみ子  
 サンセット僕を詩人にして帰す 笹倉 良一  
 早ようお帰り母の口ぐせ思い出す 松岡登代子  
 帰る家忘れることのない素足 西澤 司郎  
 Uターン母を待たせていた田舎 石谷 恵子  
 明日帰る土産は髪の長い人 福本 清美

### 宿題 花言葉 前中 知栄 選

不器用でいい母の日の花言葉 みよすみこ  
 幸福の再来などと花言葉 石谷 恵子  
 美しい別れが好きな花言葉 近藤 クニ  
 オリブの花を咲かすとウクライナ 大島美智代  
 花言葉並べて綴るラブレター 中川 彰一  
 物知りの君に聞いている花言葉 富永 熙子  
 恋すればすぐに覚える花言葉 南 高志  
 花言葉あてにならない五十年 田中 堂太  
 花言葉も知らずに植えた種もある 香川 大  
 花言葉知ってタンポポ抜き取れず 替地三枝子  
 文字にしてカーネーションは愛の花 竹明なおみ

パンジーが愛情注ぐひといずこ  
退院の祝いに代えて花言葉  
バラ色の愛の深さよ花言葉

野の花に付ける内緒の花言葉  
全力の勝利を祝う月桂樹  
花言葉覚え始めた妻に薔薇

水仙を見詰めるばかり片想い  
コスモスの迷路で幼い日を探す  
節分草逝ったあなたへ花言葉  
闘病の友に緩和のれんげ草

花言葉私の明日を晴れにする  
百歳へ万歳添える花言葉  
福寿草しあわせ招く花だって  
慎重にことばを選ぶ白い菊

呪いだなんてネガティブな花言葉  
無花果もちゃんとあります花言葉  
忠実に仕事している山スミレ  
私はアザミ一人がよく似合う

オリーブを植える平和の花言葉  
逆境に強いあなたはカモミール  
呪いとは知らず黒百合愛でている  
地図のない道の案内花言葉

花言葉無口な君を代弁し

蔵田 康子  
佐藤 辰雄  
戸田 清孝  
西川 東岳  
佐藤 后子  
野口 公明  
富永紗智子  
笹倉 良一  
正司 珠梨  
柴田 園江  
田中五十鈴  
坂下 久子  
植野 繁子  
北山 恵一  
中武 弓  
阿部 俊八  
松岡登代子  
黒田るみ子  
井倉 和子  
毛利 元子  
稲沢ひろせ  
羽生 悦郎  
黒岩 博美

おしゃべりなんて誰が勝手にアマリス  
花言葉言える男の全方位  
落ち込んだ君に贈ろうアマドコロ  
花言葉授かり花はそれらしく  
古本に誰かの涙花言葉  
ムスカリが咲いて明るい未来です  
嶋 喜八郎

宿題 勝ち 気 中岡千代美 選

エリートに負けぬ気概の叩き上げ  
皆勝ち気とりわけアレのタイガース  
根は勝ち気表の顔は柔らかい  
後輩の成果を睨む棒グラフ  
人知れず陰で涙を拭く勝ち気  
持ち前の勝ち気土壇場顔を出す  
負けん気が取り柄何度も這い上がる  
まだ負けぬ孫とかっこして勝った  
負けるものか小さくせに挑みゆく  
悔しがるたかがじゃんけん勝ち気の子  
戦力外になってもアンテナ高くする  
横綱にむしゃぶりついていく小兵  
手ごわいぞ勝ち気な女許せない  
勝ち気だから生きてこられた混乱期  
伝統の老舗女将の勝ち気ぶり

米田 恵子  
やまぐち珠美  
角野たかし  
青嶋由紀美  
栗原つや子  
嶋 喜八郎  
西谷 公造  
西陣 五朗  
塩谷 邦子  
稲沢ひろせ  
毛利 元子  
井倉 和子  
野口 公明  
中川 彰一  
安西 廣恭  
畑中 正広  
正司 珠梨  
栗原つや子  
松岡登代子  
香川 保子  
武藤 伶子

勝ち気でも芯は優しく思いやり  
持ち前の勝ち気奥歯をくい縛る  
兄ちゃんもたじたじ末っ子の勝ち気  
パワー全開負けてはならぬ眉ざりり  
もう少し負けん気ほしいひとりっこ  
負けん気を奮い立たせた逆上がり  
ギブアップはしないさせいふくらほぎ  
隅にいて辛抱強く待つ勝ち気  
言い負かすまではしつこく食い下がる  
パンプスで出世へ駆ける男眉  
泣きながら兄には負けぬ体当たり  
どちらも勝ち気結論はまた先送り  
何ごとも一番以上以下はない  
何と言われようと結果見ときいや  
息づく限り勝ち気を押し通し  
勝ち気と勝ち気石を打つ駒を指す  
弱虫の僕を助けてくれた姉  
鼻の差の勝ちでも勝ちには勝ちである  
鬼薨のような女と思し召せ  
ステージ2勝ち気な友は乗り越える  
鎖骨から伝わる君の強い意志  
インパクトの強い言葉でさようなら  
己むを得ず気丈な寡婦となりました

田中 勝子  
みよしすみこ  
中村八十八  
山本 昌乃  
青嶋由紀美  
替地三枝子  
村上 哲子  
佐藤 后子  
楠山東石子  
やまぐち珠美  
坂本 弘子  
土居 直子  
植野 繁子  
樋浦 桜竜  
稲葉 岩明  
西川 東岳  
大岩 郁夫  
笹倉 良一  
富永紗智子  
住田 照水  
ただれいな  
足立 淑子  
蔵田 康子

蔵田 康子

蔵田 康子

キビキビした動きに透けている勝ち氣  
ナンバー2が気に入ってるのほんとです  
田中きみ子

宿題 急 油谷 克己 選

防衛費よりも少子化先でしょう  
急かせるな僕は百返生きるので  
イエスノー急に問われて出た本音  
急所みな腕が知ってる勘どころ  
人生が急停車したがん告知  
急激な体重増加春うらら  
急な坂避けて通れと膝が言う  
約束のように桜が散り急ぐ  
八十五なんやかんやと急停車  
にわか雨わたしと彼のキューピット  
少子化阻止急げこども家庭庁  
恋敵の腕へ緊急の輸血  
わたくしの急所知ってる母の指  
散り急ぐ桜我が身と重ね見る  
来る古いへ急くな転ぶな言い聞かす  
枯れ急ぐ心の野火を走らせる  
遺伝子の頑固は急に治らない  
昨日今日老いのテンポが急になる  
救急車ガタガタゆれて車酔い

終末期流れの急な川もある  
村上 哲子

水河崩壊地球は急を告げている  
山田 順啓

結論を急ぐ会議が殺氣立ち  
西谷 公造

犯人逮捕急展開の捜査陣  
武藤 伶子

急落の株価に今日も目が眩む  
西澤 司郎

へそくりが急ぐ事態に集められ  
山内 悦次

ふつふつと湧いてきました詩心  
田中きみ子

金入れて心急かせるセルフレジ  
田中 勝子

序破急を自在に生きて遊行期  
栗原つや子

プライドが急所を突かれギブアップ  
藤田 勘芳

しめ切りが近い速達便にする  
池本 ゆき

真夜中のメールで帰郷喪服持ち  
福本 清美

不意に来た義母に慌てるノーマイク  
坂本 弘子

急にきれいになった娘は恋してる  
黒田るみ子

国道を急いで渡るかも一家  
西陣 五朗

明暗を分ける急流棹使  
井倉 和子

幸運は急に手のひらすり抜ける  
足立 淑子

年金日急に元気になる財布  
桑野まりこ

急展開地道な捜査実を結ぶ  
村田 賢爾

冷蔵庫見れば空っぽ急な客  
中川 彰一

ナメクジの辞書には急の文字は無い  
阿部 俊八

宿題 しぶとい 片岡 加代 選

八起き目をきつと女は起ち上がる  
富永紗智子

思い出すたびに古傷痛み出す  
山本 昌乃

母猫がしぶとく粘る子が五匹  
池田 道明

ドクダミに笑われてる鎌と鍬  
竹明なおみ

あの目からまだ追いかけているトンボ  
岡部 則正

抜いたのにへへと雑草また生える  
片山かずお

DNAの一致黙秘を突き破る  
山田 順啓

踏まれても踏まれても咲くタンポポは  
近藤 クニ

嘲笑うように変異をするコロナ  
井本 健治

母さんのしぶとく生きる大雑把  
住田 照水

一病をだましましたまして生きのびる  
安西 廣恭

母強し愚痴もこぼさず四人の子  
田中 勝子

踏まれてもおっとどっこい生きている  
南 高志

清濁を呑んでしぶとくなるハート  
藤田 勘芳

叩いても邪念しぶとく沸いてくる  
豊田 佳子

五浪目によりやく桜咲くメール  
村上 哲子

ブーチンのしぶとく歯止めかけられぬ  
福本 清美

制裁にめげずしぶとい北の国  
田中五十鈴

地球儀のいたるところで火が上がる  
田中きみ子

ここ一番後には引けぬダイエット  
替地三枝子

四面楚歌負けぬ自分の歌うたう  
細川 正章

しぶといとらった渾名はスッポン  
角野たかし

しぶとくを選つて適所は経理です  
清水 照一

値切るまで粘る客にも負けません 楠山東石子  
亡き妻の分もねばって生きる幸 茶谷 好太  
被爆国しぶとく平和訴える 大島美智代  
しぶとさが番狂わせを生んでいる 能田 文夫  
もう一番勝つ迄腰は上げません 中川 彰一  
しぶとさを買われレギュラー張っている 村田 繁一  
土俵際しぶとく残す二枚腰 西谷 公造  
最後までこの故郷に僕は住む 大岩 郁夫  
コンクリのこんな所にひょこんと芽 桑野まりこ  
拾われる骨だしぶとく鍛えなきゃ 羽生 悦郎  
まだ熱い恋の欠片が顔を出す 弘津 明子  
もうあかん言いつつ卒寿まで生きた 栗原つや子  
もう三日妻のおへそは余所を向く 青嶋由紀美  
半世紀会うたびされるプロポーズ 稲沢ひろせ  
しぶといねびっくりします我ながら 米田 恵子  
どっちもどっちごめんさいが言えなくて 池本 ゆき  
八百年ピサの斜塔はあの角度 西川 東岳  
水河期も凌ぎ繋いできた命 阿部 俊八  
簡単にはくたばりません叩き上げ 中村八十八  
ペンだこはまだまだ元氣4B派 やまぐち珠美  
キリトリ線の上で粘っている父だ 高畑 俊正